

令和元年台風第19号災害 日本赤十字社の主な活動

10月12日から13日にかけて日本列島を超大型の台風が直撃し、東日本を中心に甚大な被害が発生いたしました。このたびの災害で被災された皆様にご心よりお見舞いを申し上げます。

被災された各地域の状況に合わせ、日赤は様々な救護・支援活動を展開しています。



台風19号による被害

各地で観測記録を塗り替えた台風は、川の氾濫や土砂崩れを発生させ、地域に住む人々の、当たり前の生活を容赦なく奪いました。

被災された方々の苦痛を少しでも和らげるために、日本赤十字社は活動いたします。

医療救護活動



栃木県内では、今回の台風で被災し診療や入院の体制が取れなくなった医療機関に救護班を派遣。患者様の転院搬送を支援いたしました。

健康状態の確認



栃木県内では、県北・県南地域で医療ニーズ調査を実施。避難生活で体調を崩される方が多いため、体調悪化や災害関連死を未然に防ぐことが重要です。

救援物資の配付



毛布、布団セット、緊急セットなどの救援物資を、一刻も速く被災者の元へ。体育館などに避難されている皆さんの苦しみを少しでも和らげるために。
(写真は鹿沼市栗野)

災害ボランティアセンターの支援



赤十字奉仕団員が災害ボランティアの体調管理などの支援をおこなっております。「体力には自信があるが、体調管理をしていただくとありがたい」などの声が聞かれました。(写真は宇都宮市災害VC)

皆様のご支援により活動が実施できております。ご協力、誠にありがとうございます。